

まえがき

横浜市では昭和48年度から、ほぼ3年ごとに市内の川や海に生息する生物を調査して、その結果を公表してまいりました。これは、市民の方々に生物を通して水質の汚濁状況を理解していただき、水質や水環境の改善について理解を深めていただくことを目的としております。

今回、第9回目の調査は平成11年度に河川域を対象に行ったもので、調査にあたっては各分野の専門家の先生方をメンバーとする「横浜市内水域生物相調査会」と横浜市環境科学研究所により行われ、本報告書としてとりまとめることとなりました。

横浜市は「ゆめはま2010プラン」基本計画の中に、「魚やさまざまな生き物がすめるきれいな川や海で、釣りや水遊び、水辺の散策など市民がふれたのしめること」を環境目標として掲げています。さらに、このような快適な水環境を保全・創造するため、「横浜市水環境計画（ゆめはま水環境プラン）」を平成6年3月に策定し、水域ごとに指標生物等をはじめとした水環境目標を掲げ、各種の施策を推進しているところです。

本報告書はこのような水質改善、生物多様性等の水環境復元に係わる取り組み等を推進するための基礎資料として、おおいに活用されればと考えております。

また、調査の実施にあたってご協力いただいた「横浜市内水域生物相調査会」の先生方に謝意を表します。

平成13年3月

環境保全局長 土田 稔

横浜市内水域生物相調査会構成メンバー

氏名	所属	調査項目
鳥海三郎	社団法人 観音崎自然博物館	生物相調査結果の概要 海域のプランクトン
金田彰二	日本工学院専門学校 環境科学科	河川域の底生動物
村上雄秀	財団法人 国際生態学センター	河川植生，沈水植物
剣持和憲	東京水産大学資源育成学科	海域の魚類
林 公義	横須賀市自然人文博物館	海域の魚類
秋本 泰	財団法人 海洋生物環境研究所中央研究所	海域の底生動物
野中圭介	中央水産研究所 海洋生産部	海岸動物
田中次郎	東京水産大学資源育成学科	海藻（草），汽水藻類
井上 勲	筑波大学生物科学系	海産微細藻類

目 次

第一部 横浜市河川域における生物相調査概要

I 調査項目及び調査方法	1
II 横浜市内の川の状況	5
III 河川域の生物相調査結果の概要（鳥海三郎）	10
IV 生物指標から見た水質汚濁状況	14
V 水環境目標の水域区分ごとの達成状況	27

第二部 生物調査結果

1 横浜市内河川の水質環境（1999～2000年）（環境科学研究所）	37
2 横浜市内河川の水環境変化（環境科学研究所）	55
3 横浜の淡水魚類相調査報告（1999～2000年）（環境科学研究所）	71
4 横浜市内河川の魚類における寄生虫相（岩下誠 他，環境科学研究所）	121
5 横浜市内河川における底生動物相（第9報，1999～2000年） （金田彰二，環境科学研究所）	137
6 横浜の淡水エビ・カニ類の分布状況（1999～2000年）（環境科学研究所）	171
7 横浜市内の河辺植生（第4報）－1999年度中小河川調査－ （村上雄秀，矢ヶ崎朋樹）	183
8 横浜市内河川の沈水植物（第6報）（村上雄秀，環境科学研究所）	211
9 横浜市内を流れる河川における付着藻類の分布状況（1999～2000年） （環境科学研究所）	217

（表紙の写真：上段は鶴見川亀の甲橋，下段はカマツカ）